

砺波市文化会館事業のご案内

令和5年度オリジナルミュージカル

『クラウドナイン!』

日時 2024年3月2日(土) 18:30開演
2024年3月3日(日) 13:30開演
会場 砺波市文化会館 大ホール

あらすじ

のどかな田園風景が広がるこの村では、夏の空に勢いよく沸き立つ特大入道雲を「クラウドナイン」と呼び、子どもたちもこの雲のように純粋で伸び伸び育ってほしいと願っていた。いつものように収穫作業を手伝ったウィリーたちは、その褒美としてトラックにのせてもらい町へ向かう。町に到着したウィリーたちは、賑わう町に圧倒されながらテント小屋の前に来る。貼り出されたポスターに大興奮するウィリーたちだが、小遣いをすられたことに気づき途方に暮れる。無一文になったウィリーたちは帰るに帰れず、或る一大決心をする。

舞台運営スタッフ募集中!

詳細は砺波市文化会館までお問合せください。

主催 オリジナルミュージカル「クラウドナイン!」実行委員会
となみミュージカルキッズを応援する会
(公財) 砺波市花と緑と文化の財団

※予定は変更となる可能性がございます。

令和5年度合唱振興事業

となみのジュニア合唱団活動スタート!

7月9日(日)から『となみのジュニア合唱団』の活動がスタートしました。『となみのジュニア合唱団』は、砺波市内の小中学生を対象に、合唱の楽しさ、気持ちを表現する喜びを優れた指導者から学ぶことを目的としています。

指導者の今井幸代先生、ピアノの松木理恵子先生のご指導のもと、団員8名で楽しく活動しています。これから今年12月24日(日)に予定している発表会に向けて、ワークショップを行います。



▲ワークショップの様子



▲ワークショップの様子

発表会のご案内

こどもたちの練習の成果をぜひご覧ください。

日時 2023年12月24日(日)
場所 砺波市文化会館 多目的ホール

※予定は変更となる可能性がございます。
※時間については後日お知らせいたします。

となみ芸術文化友の会

友の会だより第58号 2023年9月

〔発行〕 となみ芸術文化友の会事務局(砺波市美術館内)
〒939-1383 富山県砺波市高道145-1 電話 0763-32-1001

令和5年度 となみ芸術文化友の会 総会・コンサート終了報告

令和5年5月28日(日)午後5時より、砺波市美術館2階市民アトリエにおいて、「令和5年度となみ芸術文化友の会総会」を開催いたしました。谷口会長の挨拶のあと、議長に会長を選出のうえ議案についてご審議いただき、原案のとおり全て承認されましたことをご報告申し上げます。(総会資料をご希望の方は事務局へお申し出ください。)

また、総会終了後は、太夫(語り)に瀬川三郎さん(砺波市本町)、三味線に松村幸子さん(砺波市中央町)をお迎えし、砺波市美術館2階市民ギャラリーにて、特別公演「浄瑠璃」を開催しました。感染症対策が緩和されたことから入場制限を行わずに実施することができ、ご来場いただいた76名の方々には、瀬川さんの情感を込めた語りと松村さんの優美な三味線の音色より、脈々と続く出町浄瑠璃の歴史と魅力を身近でご堪能いただきました。



悲恋物語

『生写朝顔話 宿屋の段』

『艶容女舞衣 酒屋の段』

太夫 瀬川 三郎さん

三味線 松村 幸子さん

※松村さんのお孫さん朱音さん(出町小6年)が拍子木で出演

「前会長 廣瀬 慎一さんを偲んで」

友の会会長 谷口 美都江

令和5年5月28日(日)、友の会総会後のコンサートに、前会長の廣瀬慎一さんを偲んで、出町浄瑠璃の太夫の瀬川三郎さんと三味線の松村幸子さんをお招きして、浄瑠璃の演奏をしていただきました。

廣瀬さんは、出町子供歌舞伎と出町浄瑠璃にたいそう尽力され、ご自身も長年にわたって浄瑠璃を語られました。コンサート当日、太夫の瀬川さんがお使いになった見台は、廣瀬さんが生前にご愛用されていたものでした。

廣瀬さんとのご縁は、平成27年の名古屋方面の研修旅行のときでした。豊饒とした風格の中に軽妙さを併せ持ち、自ずと人が集まってくるという人徳の豊かさを深く感じました。会長を退かれて、これからはいろいろとご指導をいただけるものと思っておりましたが、昨年8月のご逝去はすぐには信じることができませんでした。

世の中が変わり、新型コロナの影響などもあって、友の会の活動も少しずつ変化せざるをえませんが、先人の方々の思い、良き伝統は何としてでも継承していきたいと、改めてお誓い申し上げます。



会長交代時の廣瀬さん(右)

令和5年度 となみ芸術文化友の会研修旅行 参加者募集

〈期 日〉：令和5年10月19日(木) 〈参加対象者〉：友の会会員とその家族
 〈会 費〉：13,000円(昼食代・見学料含む) 〈募集定員〉：30名
 ※当日のキャンセルのみ半額(6,500円)をいただきます ※定員に達した時点で受付を終了いたします
 〈募集期間〉：令和5年 9月30日(土) 午後6時まで
 〈見学先〉：水野美術館・長野県立美術館(善光寺は自由散策)
 〈行 程〉

7:45 砺波市美術館 参加者受付開始 ~ 8:00 砺波市美術館 出発
 11:30 見学① 水野美術館 見学(50分)



2002(平成14)年7月に開館した日本画専門の美術館。
 美術館前には、豊かな緑や季節ごとに咲く花々が美しい700坪
 の日本庭園が設けられている。

企画展：「キーワードで紐解く風景」
 小特集 川合玉堂 生誕150年

12:40 昼食「宴席 油や」(1時間)



長野駅善光寺口、ペDESTリアン
 デッキからビルをみたところ

1833(天保4)年に創業の老舗。
 長野駅前のウエストプラザ長野9階、ドン・キホーテ長野駅前店
 は同ビル。(写真左)
 1階に、同じ経営の「そば亭油や」もあり。



※昼食は、松花堂弁当の蕎麦つき(写真はイメージです)

13:45 見学② 長野県立美術館(善光寺自由散策) 見学(1時間30分)



1966(昭和41)年、善光寺に隣接
 する城山公園内に、「長野県信濃美術館」
 として開館。2021(令和3)年4月
 に全面改築し、「長野県立美術館」と名称
 を新たにした。



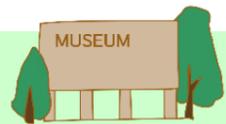
併設する東山魁夷館は、1990(平成2)年に開館。2019
 (令和元)年10月にリニューアルオープンした。

企画展：「とびたつとき」
 池田満寿夫とデモクラートの作家

19:00 砺波市美術館 到着予定

問 合 せ
 申 込 先

となみ芸術文化友の会事務局(砺波市美術館内)
 電 話：0763-32-1001(午前9時30分~午後6時)



砺波市美術館 企画展

「木村伊兵衛展-写真に生きる」

砺波市美術館学芸員 長田 里恵

今回、砺波市美術館では「木村伊兵衛展-写真に生きる」を開催します。当館は、定期的に特別展として写真展を企画しています。去年、写真展「138億光年宇宙の旅」を開催しましたが、日本写真史に深く名を刻む写真家の展覧会は、2017年に開催した「写真家・濱谷浩」以来となります。

木村伊兵衛(1901~1974)は、昭和初期に実用化が始まったばかりの小型カメラに写真表現の可能性を見出し、被写体の一瞬を捉える「スナップショット」といわれるスタイルを確立しました。撮影対象は、芸術家の肖像や舞台写真ははじめ、ヨーロッパや中国での取材から、東京下町、日本の農村部まで多岐に渡り、数多くの傑作写真を発表しました。

木村のスナップショットは、テーマを強調、誇張せず、あるがままの日常をそのまま写真にしています。中心となる被写体だけでなく、周囲の空気感まで写真に取り込んでいます。また、見る者の視点を一点集中させず、画面の随所に視点を分散させる構図も独自の手法です。

彼は、自身の仕事を報道写真と位置付けています。報道写真は、テーマを絞り、社会的メッセージを伝えるための写真と定義されていますが、彼の報道写真は、そういったメッセージ性のあるものは多くありません。私的な眼差しで眺められた世界の断片を積み重ねていくアンリ・カルティエ=ブレッソンのスタイルに近く、あくまで、木村伊兵衛という一個人が感じたものを、持ち主の目と一体化したカメラを通じて見た映像の集積なのです。

本展では、彼の出発点となった「夢の島-沖縄」、戦後の代表作「秋田」を含む6章構成で木村伊兵衛の世界を紹介します。



永井荷風(作家), 浅草仲見世, 東京, 1954 © Naoko Kimura



朝市, 上海, 中国, 1963 © Naoko Kimura



田植え, 大曲, 秋田, 1957 © Naoko Kimura

会 期：9/9(土)~11/5(日)
 休館日 9/25(月)、10/2(月)、10/16(月)、30日(月)
 観覧料：一般800円(700円)

18歳以下、障がい者(介助者1名含む)無料
 ※ () 内は20名以上の団体料金、65歳以上割引料金

講演会「写真家・木村伊兵衛の世界」<聴講無料>
 申込期間：9月10日(日)まで
 ※ホームページの専用フォームよりお申し込みください
 日 時：10月1日(日) 午後2時から
 会 場：2階市民アトリエ
 定 員：40名(要申込、申込多数の場合は抽選)
 講 師：飯沢 耕太郎(写真評論家)